

山上の説教から学ぶ その40  
「**基盤の確かさを確認しよう**」  
2021年11月21日メッセージ・ノート

ピサの斜塔：揺るぎない基盤の重要性

今年の7月3日～静岡県熱海での土石流

マタイ7:24-27 (JLB)

24わたしの教えを聞いて、そのとおり忠実に実行する人はみな、堅い岩の上に家を建てる賢い人に似ています。 25大雨が降り、大水が押し寄せ、大風が吹きつけても、その家はびくともしません。土台がしっかりしているからです。 26反対に、わたしの教えを聞いても、それを無視する人は、砂の上に家を建てる愚かな人に似ています。 27大雨、大水、大風が襲いかかると、その家はあとかたもなく、こわれてしまうからです。」

しっかりした基盤（堅い岩）とは何ですか？

- ・ イエスの教えを聞いて、その通り忠実に実行する人 (24)  
その教えは山上の説教の内容  
聞くことだけでなく、忠実に実行すること→それは信仰

ヤコブ 1:22-25 22また聞くだけでなく、それを実行することも忘れてはなりません。みことばを聞くだけは聞いて、自分を偽った行動をとることがありませんように。23聞いただけで実行に移さない人は、鏡に映る自分の顔をながめているようなものです。24鏡から離れると、自分がどんな表情をしていたか、すっかり忘れてしまいます。25しかし、〔完全な律法、自由の律法である〕神の教えを一心に見つめて離れない人は、すぐに忘れたりしないばかりか、その命令を実行します。神は、そのような人の行いに大きな祝福を与えてくださいます。

- ・ 人生の最初からこのしっかりした土台の上に建つことはできない。イエスに出会って、この土台に移ることになる
- ・ ペテロとイエスの出会い  
ヨハネ 1:40-42 40二人のうち一人は、シモン・ペテロの兄弟アンデレでした。41それからアンデレはシモンを捜し出し、「とうとうメシヤ（ヘブル語で、救い主）にお会いしたよ」と言いました。42そして、彼をイエスのところへ連れて行きました。イエスはシモンをじっと見つめ、「あなたはヨハネの子シモンですね。これからは、ペテロ（岩）と呼びましょう」と言われました。
- ・ 新しい土台に移ること  
マタイ 4:18-20 18ある日、イエスがガリラヤ湖の岸辺を歩いておられると、シモン（別名ペテロ）とアンデレの二人の兄弟が舟に乗り、網で漁をしているのに出会いました。彼らは漁師でした。19イエスが、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう」と声をおかけになると、20二人はすぐに網を捨て、イエスについて行きました。
- ・ 過程であり、瞬間的な変化ではない  
マタイ 16:13-18 13ピリポ・カイザリヤに行った時、イエスは弟子たちに、「みんなは、わたしのことをだれだと言っていますか」とお尋ねになりました。14弟子たちは

答えました。「バプテスマのヨハネだと言う人もいますし、エリヤだと言う人もいます。また、エレミヤだとか、ほかの預言者の一人だとか言う人もいます。」

<sup>18</sup>「では、あなたがたは、どうなのですか。」<sup>18</sup>シモン・ペテロが答えました。「あなたこそキリスト（ギリシャ語で、救い主）です。生ける神の子です。」

<sup>17</sup>「ヨナの息子シモンよ。神があなたを祝福してくださったのです。それを明らかにしたのは、人ではなく、天におられるわたしの父です。<sup>18</sup>あなたはペテロ（岩）です。わたしはこの大きな岩の上にわたしの教会を建てます。地獄のどんな恐ろしい力も、わたしの教会に打ち勝つことはできません。」

**マタイ 16:21-26**<sup>21</sup> その時からイエスは、ご自分がエルサレムに行くことと、そこでご自分の身に起こること、すなわち、ユダヤ人の指導者たちの手でひどく苦しめられ、殺され、そして三日目に復活することを、はっきり弟子たちに話し始められました。<sup>22</sup>ところが、ペテロはイエスをわきへ呼んでいさめました。「先生。とんでもないことです。あなたのようなお方に、そんなことが起こってなるものですか！」

<sup>23</sup>しかし、イエスはふり向いて、「サタンよ。下がれ。そのようなことを言って、わたしをわなにかける気ですか。あなたは人間的な見方をして、神の見方を忘れている」とおしかりになりました。<sup>24</sup>それから、弟子たちに言われました。「だれでもわたしの弟子になりたければ、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしについて来なさい。<sup>25</sup>いのちを大事にする者は、いのちを失うことになります。しかし、わたしのためにいのちを投げ出す者は、それをもう一度自分のものにできるのです。<sup>26</sup>たとえ、全世界を自分のものにしても、永遠のいのちを失ってしまったら、何の得になるでしょう。いったい、永遠のいのちほど価値のあるものが、ほかにあるでしょうか。」

- ・ 手放すことは過程に含まれている

#### 土台に建っていく人生

**1コリント 3:11-15**<sup>11</sup> 私たちがすでに持っている本物の土台、イエス・キリスト以外に、土台をすえることなどだれにもできないのです。<sup>12</sup>しかし、この土台の上には、いろいろの材料で建てることができます。金や銀や宝石を使う人もいれば、また木や草、わらなどを用いる人もあります。<sup>13</sup>やがて、すべてがテストされる、キリストのさばきの日が来ます。その時には、建築家が各自どんな材料で建てたかが明白になります。それぞれの仕事は火でテストされ、なお価値が変わらないかどうか、ほんとうに完璧な建物かどうか、だれの目にも明らかになります。<sup>14</sup>そして、その土台の上に適切な材料を使って建てた人は、建物がちゃんと残るので報いがあります。<sup>15</sup>しかし、家が焼けてしまった人は、大損害をこうむります。その人自身は、炎の中をくぐり抜けるように、命からがら逃げて救われるでしょうが、

**マタイ 6:19-21**<sup>19</sup> 財産を、この地上にたくわえてはいけません。地上では、損なわれたり、盗まれたりするからです。<sup>20</sup>財産は天にたくわえなさい。そこでは価値を失うこともないし、盗まれる心配もありません。<sup>21</sup>あなたの財産が天にあるなら、あなたの心もまた天にあるのです。

#### まとめ：

1. あなたの人生の基盤・土台は何ですか？イエス様へ移動していますか？
2. その移動の過程を妨げている、まだ手放せないでいるものはありますか？
3. そのしっかりした土台の上にどのような人生を建てていますか？どの材料を使っていますか？